

堰の名前	堰の大きさ	作成人物	作成年代
下堰（漆堰） ①－②－③－ ⑫－⑮－⑯－ ⑰－⑱－⑲－ ⑳－㉑－㉒－ ㉓	堰長 ・2848間（5243m） ①点での幅は212cm ” 深さは166cm ③点は長年「水あらい」の地点となった。	堤佐太夫 使用人員 1000人	1638年 （寛永15年）
石堰 ⑪－三の森川 －⑫－⑬－ ⑬′－⑭	堰長 ・863間（1568m） ⑫点での幅は151cm ” 深さは121cm	小玉九兵衛 （⑬′～⑭だけ） ⑫－⑬－⑬′ は不明 使用人員 300人 ☆文献3と文献4は 全体を小玉の作成と しているが文献2で は245間としている。	1654年 （承応3年）

これらの堰の本流のほかに、漆村だけでも③～④の間に

③′ ▶ 石田堰 ③″ ▶ 北石田堰 ③ ▶ 村中堰 ほか数流

また、④～⑤の間に

④′ ▶ 北堰 ④″ ▶ 新井館堰 ④ ▶ 村西堰学校堰などとなっています。

さらにその他の分流の堰を総合して綱取堰といいます。